

次世代映像技術

越地正行* 浅井光太郎*
鈴木隆太*
関口俊一*

要旨

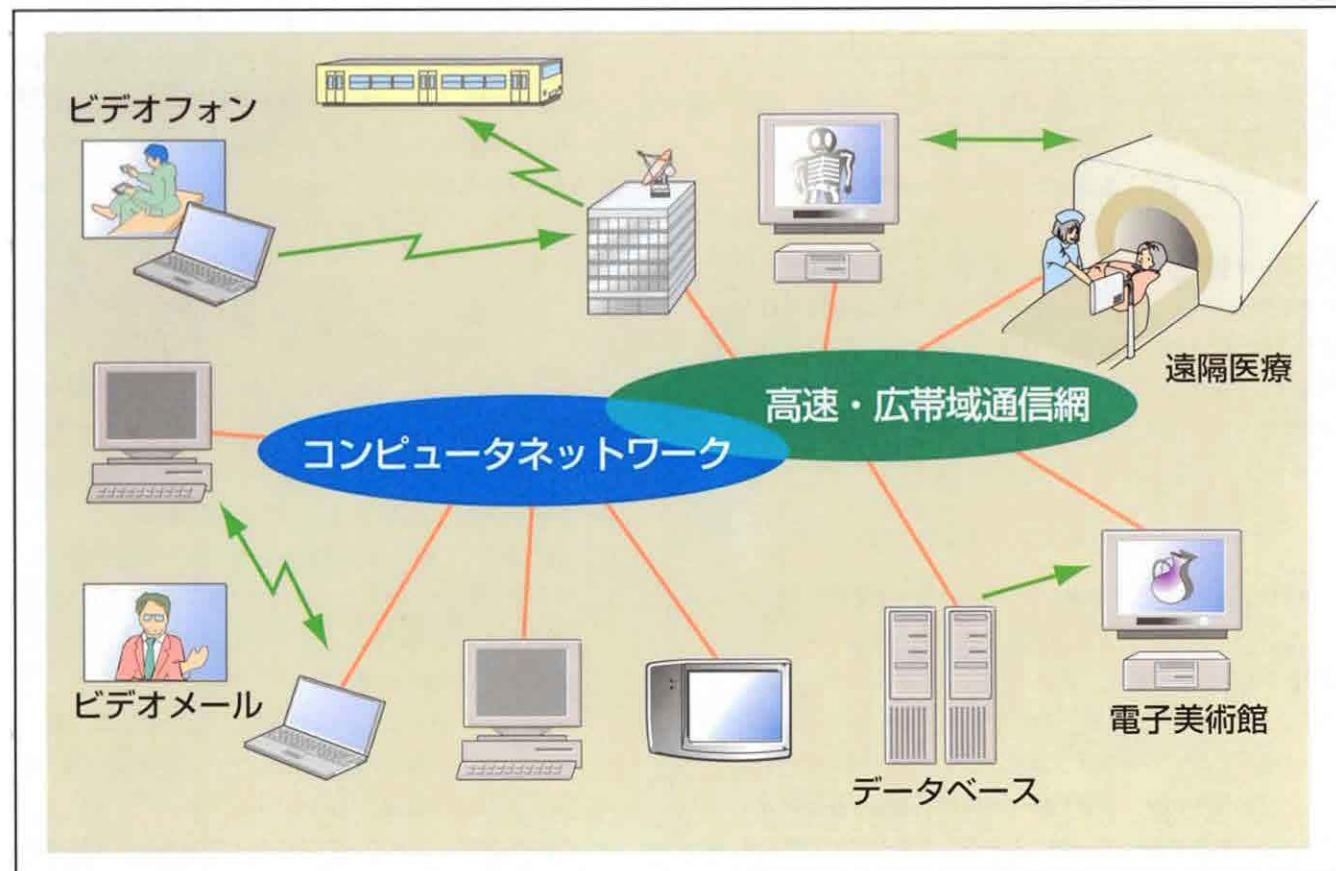
21世紀に向けた次世代の映像技術として、超高精細画像とMPEG4(Moving Pictures Experts Group Phase 4)を取り上げる。

HDTVの解像度を超える超高精細画像は放送、通信、蓄積、情報、印刷・写真などの従来個別に扱われていた画像メディアをデジタル化して統合し、臨場感あふれる高品質な画像情報を提供するものであり、広帯域ISDNを利用した画像通信メディアとして期待されている。

一方MPEG4は、通信、コンピュータ、オーディオ・ビジュアルの三つの分野でのアプリケーションをターゲット

とした映像・音声及びシステムに関する符号化・多重化方式に関する国際標準化方式であり、1998年11月にISO/IEC/JTC1/SC29/WG11によって標準化完了の予定である。

本稿では、この超高精細画像とMPEG4について、その概要、必要とされる要素技術、ターゲットとする市場分野について述べ、これらに対する開発成果として、超高精細画像については超高精細画像特殊効果表示装置の概要を、MPEG4については提案しているビデオ符号化方式の概要を紹介する。



次世代映像通信のアプリケーションイメージ

ATMによって通信網とコンピュータネットワークは融合し、高速・大容量なデータの伝送が必要な超高精細画像を用いた医療や美術分野のアプリケーションや、MPEG4に準拠した超低ビットレートでの映像通信アプリケーションが混在している。